

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	総務課					
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(10) 効率的な情報システム運営		実施計画事業	1) 情報システム運営事業 (No.84)				
予算等事業名	町村共同利用型情報システムサービス事業							
目的	民間のデータセンターやパッケージソフトを町村が共同で利用することにより、システム費用の低減化及び業務の効率化を図る。							
内容	民間のデータセンターやパッケージソフトを町村が共同で利用することにより、システム費用の低減化及び業務の効率化を図る。							
根拠法令・条例等	神奈川県町村情報システム共同化推進の基本方向の合意 町村情報システムの共同事業に関する合意書 神奈川県町村情報システム共同事業組合理約							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由								

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由								

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)						
	【説明】						

総合評価

実績	H24.9に共同運用に移行した。						
中間評価との相違点	—						
事業指標(数値指標)	—						
前期(27年度)目標値	—			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
単位:							
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	システム運用経費において、単独運用より30%以上削減する。			
	—						

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		35,957	33,682				
財源内訳	一般財源	35,957	33,682				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 基幹系(住民情報)にかかる業務であり、町が実施しなければならない。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 住民情報システム自体は共同運用となったが、実際に業務を遂行するのは町である。町が主体となる必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 共同運用移行にあたり、紙や表計算ソフトで管理していた業務のいくつかを共同システムに追加し、データ連携できる業務が増えた。また、サーバ4台を廃止した。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 システム運用経費は、30%削減が達成されている。従来業務のほかに新業務を追加したので実際の削減率は30%未満となったが、上記のとおり業務の効率化は図られている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 上記各項目別評価のとおり、現状維持としたい。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	共同システムの使い勝手をさらに向上させるため、限られた予算で効果的にカスタマイズできるよう組合に働きかけていく。 基幹系、内部系以外の業務システムの共同運用の可能性を組合に働きかけていく。 システム経費以外の経費(アウトソーシング等)を含めたトータルな経費の検証を行う。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	共同システムの運用により、経費節減と業務の効率化が図られている。		
今後の方向性	システムの共同化による効果を検証すると共に、共同システムの更なる機能向上により、一層の経費節減と業務の効率化が図られるよう組合に働きかけていきたい。		